

◆令和2年1月～令和2年9月事故の状況◆

◆令和2年1月～令和2年9月事故の状況◆

☆事故件数は、「64件」発生しており、昨年と比較すると21件増加

☆9月までの事故**64件はH28年以降で最も多い**

☆9月までに**熱中症が10件発生**

◆現場での安全な施工に向けて◆

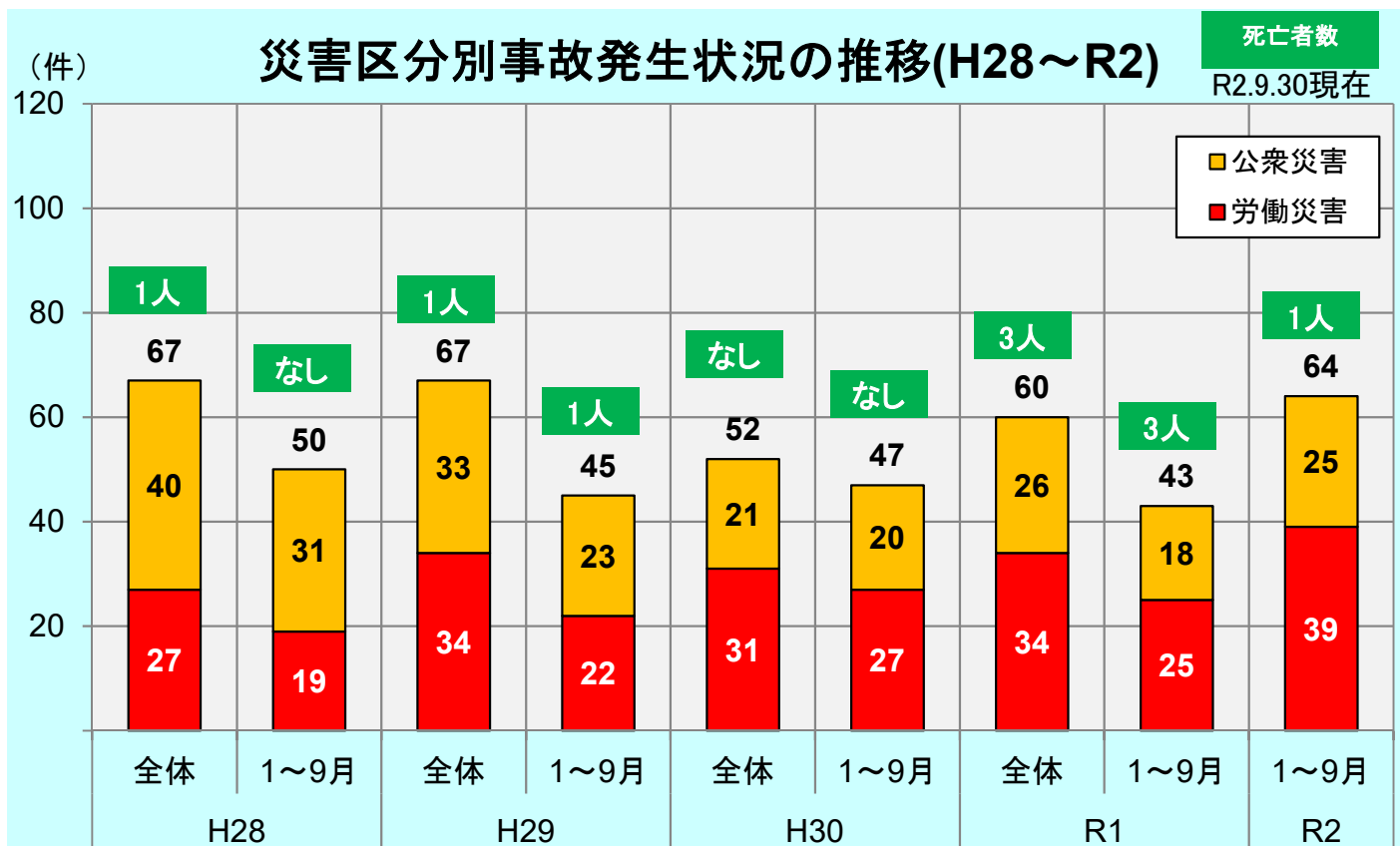
⇒気温の低下や天候の急変などに注意し、無事故で工事完成を！

1. 事故の発生状況

※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

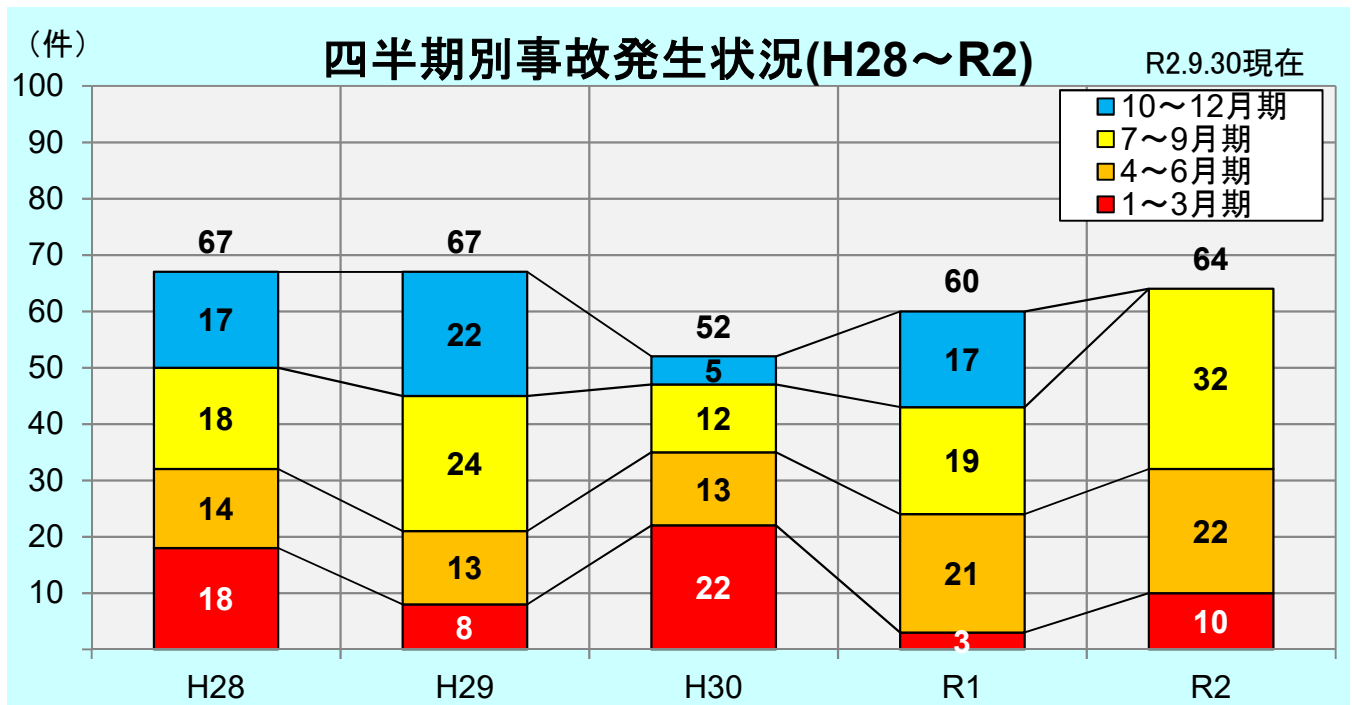
1) 各年の事故件数の推移

令和2年1月から令和2年9月までの事故は64件発生。平成28年以降で最も多い。公衆災害は25件と昨年から7件増加、労働災害39件と昨年から14件増加しています。



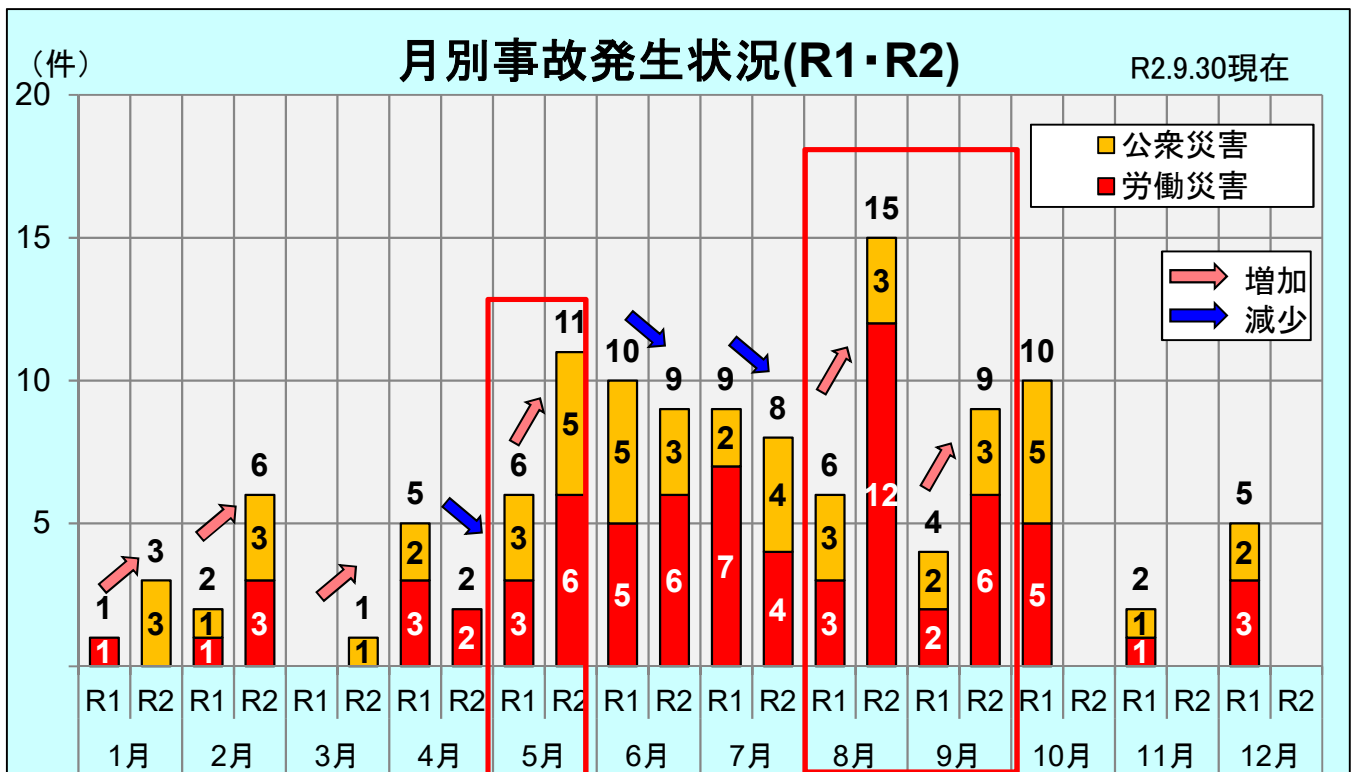
2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、1～3月は10件、4～6月は22件、7～9月は32件となり、4月～9月は、H28以降で最も多い状況となっています。



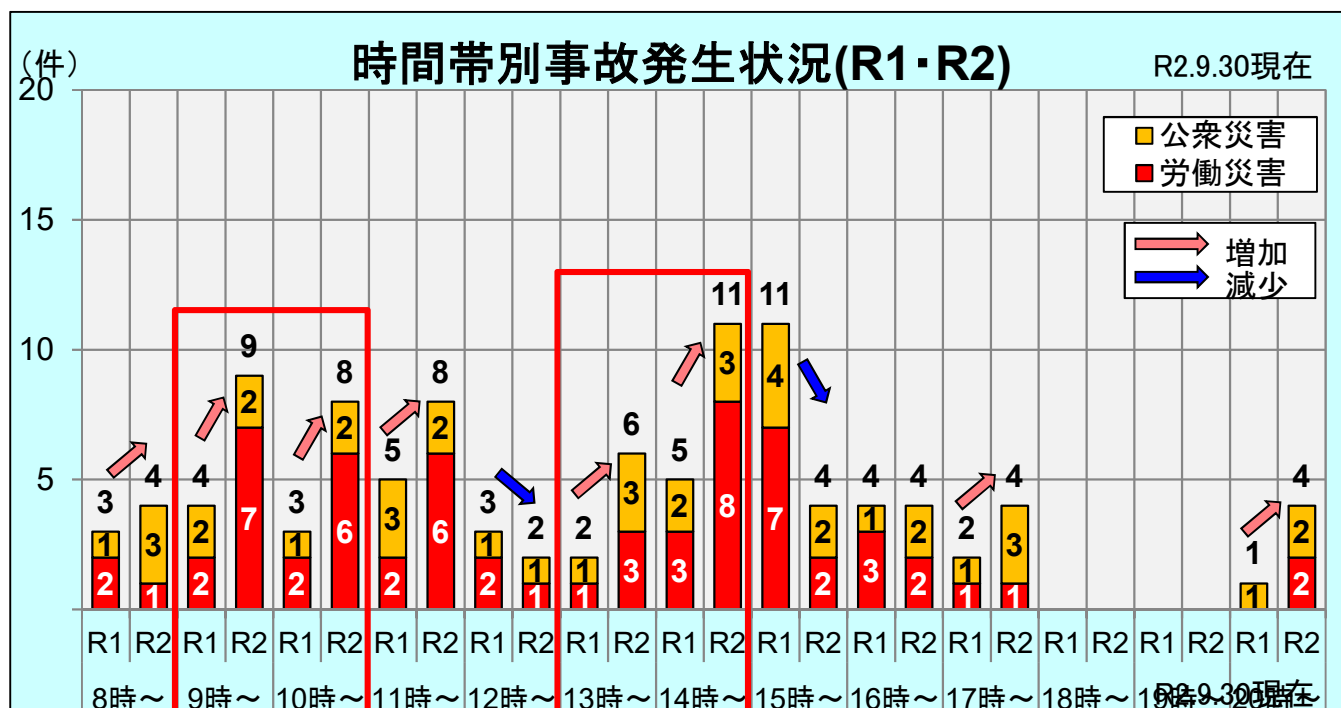
3) 月別の事故発生件数

R1とR2の月別事故発生件数を比較すると、1月、2月、3月、5月、8月、9月で増加している。特に5月、8月、9月は増加が大きく、8月は熱中症の多発(8件)が要因となっています。



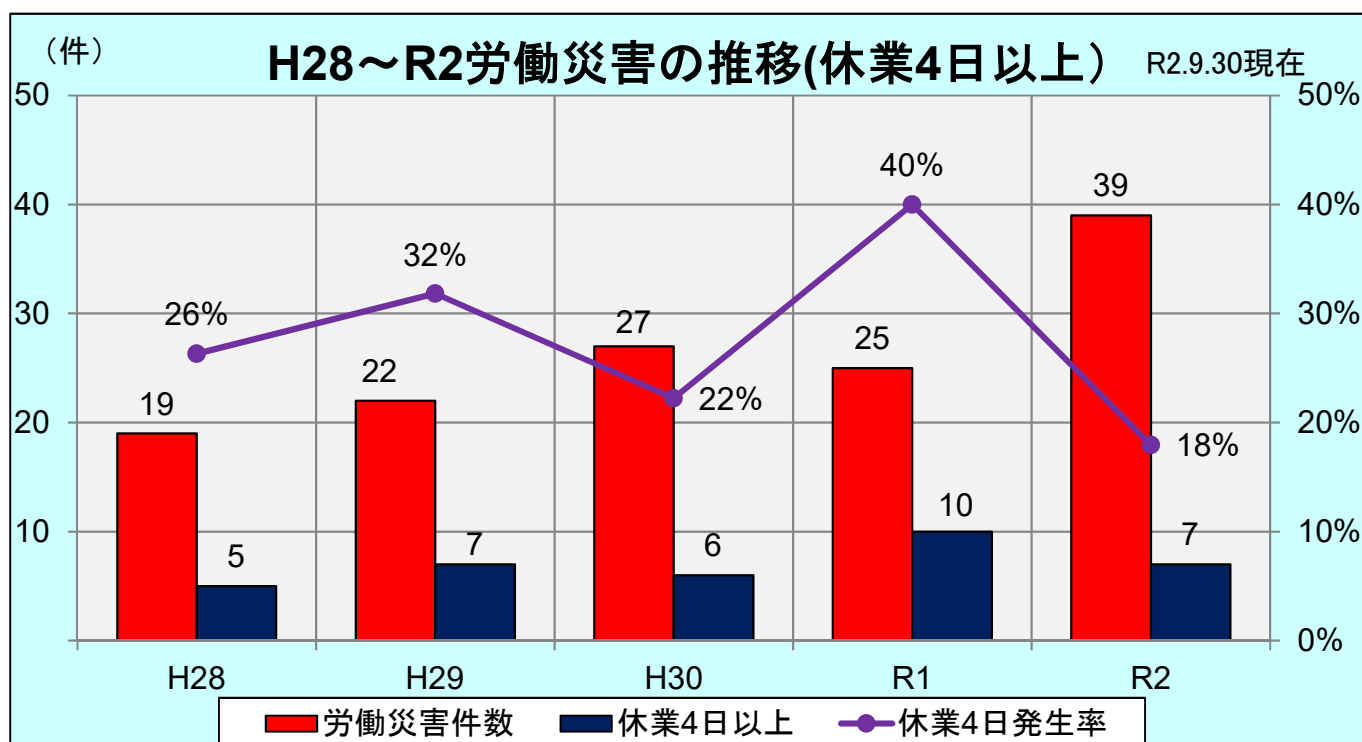
4) 時間帯別事故発生状況

事故発生を時間帯別にR1とR2を比べると、午前は9、10時台、午後は13、14時台が特に増加しています。



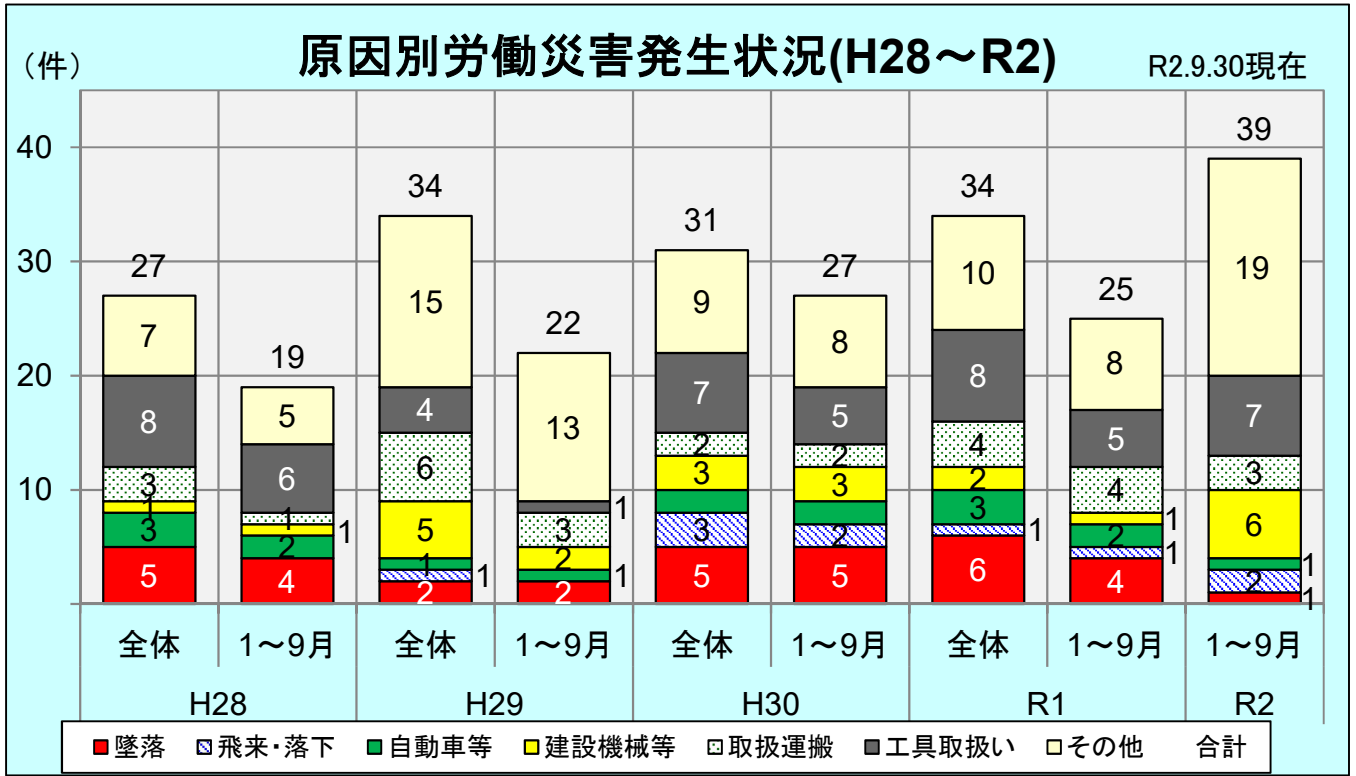
5) 休業4日以上 of 事故発生状況

R2年9月までの労働災害は39発生し、昨年から14件増加し。休業4日以上 of 事故は7件発生し、昨年より3件減少。労働災害に占める休業4日以上 of 事故の発生率はH28以降最も低く18%となっている。



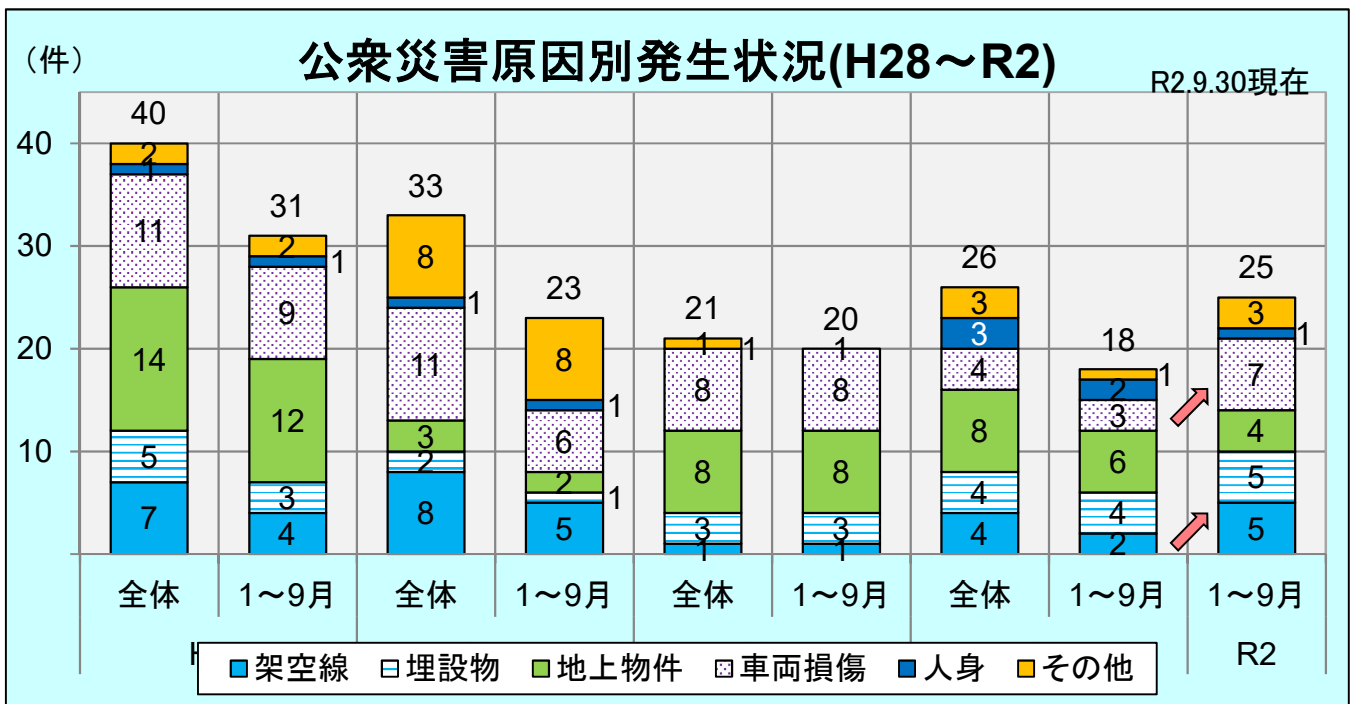
6) 労働災害の原因別事故発生件数

労働災害の原因別は、建設機械等（1→6件）、その他（8→19件）の事故が増加。その他の事故19件のうち10件は熱中症であり、8月に増加しています。



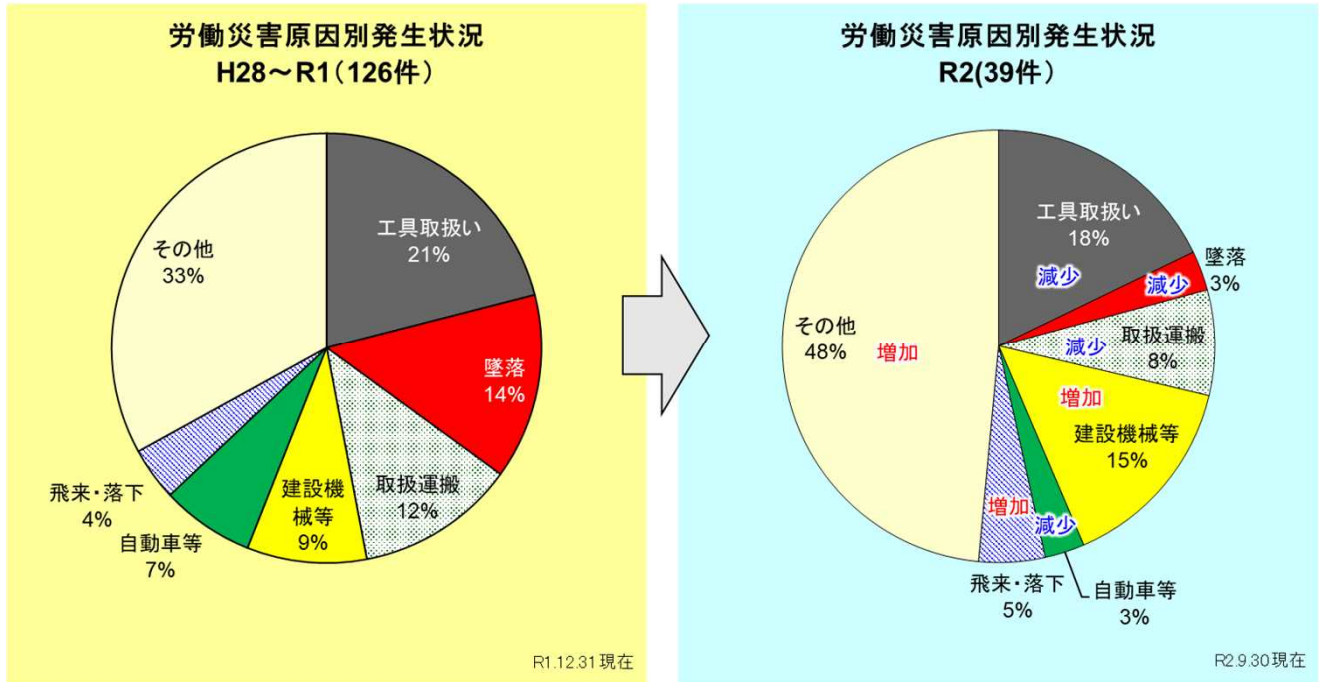
7) 公衆災害の原因別発生状況

R2の公衆災害は前年の9月までと比較すると18→25件に増加。R2の原因別発生状況は昨年に比べ架空線、車両損傷が増加しています。



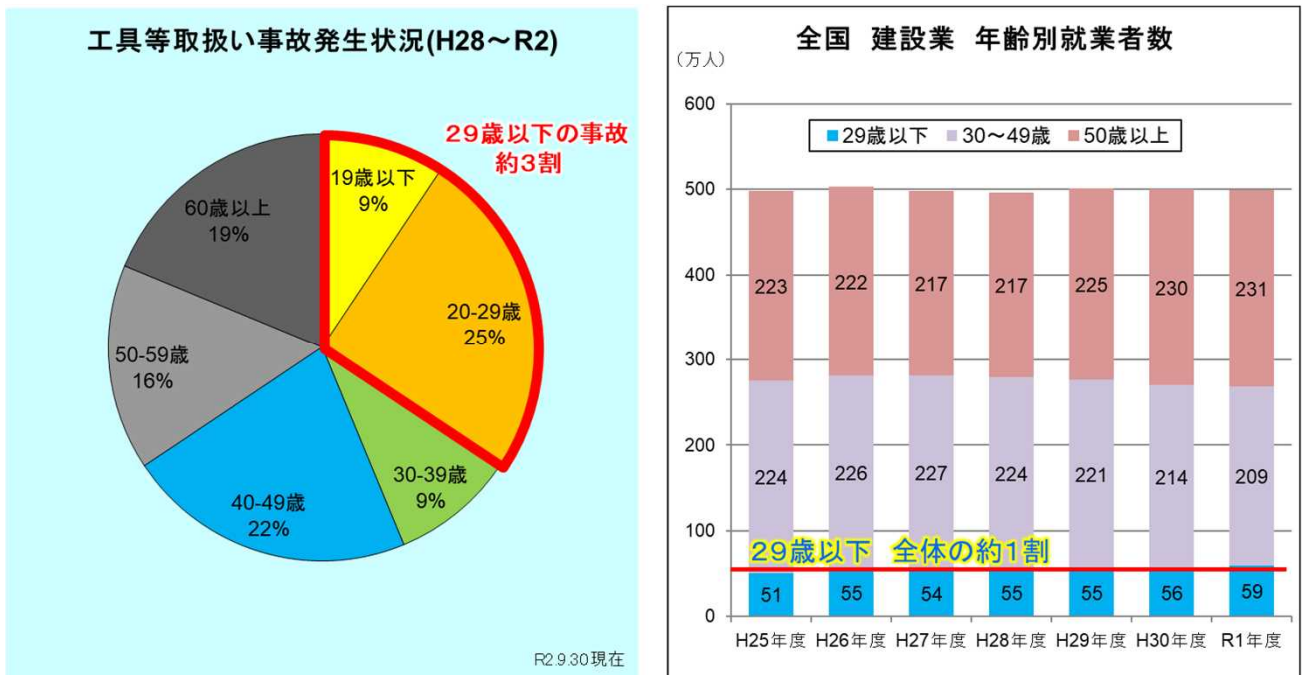
8) 労働災害原因別発生状況

事故分類別の発生割合をH28～R1とR2で比較すると、建設機械等、飛来・落下、その他が増加し、工具取扱い、墜落、取扱運搬、自動車等が減少しています。



9) 工具等取扱い事故発生状況

工具等取扱い事故のH28～R2の状況では29歳以下の事故が約3割を占めている。建設業全体に占める29歳以下の就業者は約1割程度であるが、人力除草による鎌等工具等の取扱いにより被災する事故が多い。（工具等：草刈り鎌、釘打機、ディスクグラインダー等）



2. その他

1) 令和2年度 北陸地方整備局 安全管理優良受注者の決定

北陸地方整備局では、平成元年より毎年9月第4週を「労働災害防止週間」と定め、建設工事における労働災害の防止に向けて、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その安全管理及び労働災害防止対策が特に優秀であって他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰しています。

今回は、平成31年度・令和元年度に完成した北陸地方整備局発注工事の受注者(337者)の中から、19者を安全管理優良受注者として選定しました。

令和2年9月14日(月)に北陸地方整備局において表彰式を実施しました。

令和2年度 安全管理優良事例集をHPに掲載

今年度、安全管理優良受賞19者の取り組み事例を北陸地方整備局ホームページに掲載しましたのでお知らせします。安全教育、安全管理等の参考として下さい。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/anzenkanri.html>

安全管理優良受注者表彰 北陸 事例集

検索



2) 北陸地方3ヶ月予報（11月から1月まで）

気温の低下と共に、冬の訪れを感じる季節となりました。低温時は体が硬くなり、少しのことで躓いたり、転倒するなどケガに繋がる可能性がありますので、作業開始前に準備運動を行う等、事故防止対策をお願いします。

北陸地方 3か月予報
(11月から1月までの天候見通し)

令和2年10月23日
新潟地方气象台 発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

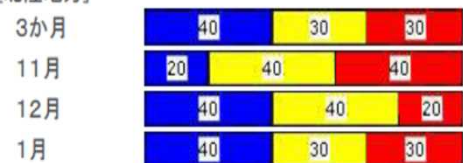
12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。気温は、平年並または低い確率ともに40%です。

1月 平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

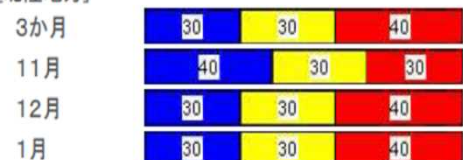
【気温】

[北陸地方]



【降水量】

[北陸地方]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

【問合せ先】北陸地方整備局企画部 技術検査官 山崎 TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861